

令和7年度 鹿児島市 CKD 予防ネットワーク報告書

目次

1. ネットワークの稼働状況(p2～)
 - ①CKD予防ネットワーク概要図
 - ②新規透析患者数
 - ③CKD登録医・腎臓診療医
 - ④CKD登録薬剤師
 - ⑤令和7年度 CKD登録医・未登録医受診者数の報告(様式0)
 - ⑥令和7年度 腎臓診療医受診者数の報告(様式3)
 - ⑦保険者別CKD抽出者数の経年的推移
2. 協力団体の取組み(p10～)
 - ①国民健康保険課
 - ②協会けんぽ
 - ③長寿支援課・長寿あんしん課
 - ④鹿児島県看護協会
 - ⑤鹿児島県栄養士会
 - ⑥鹿児島糖尿病療養指導士会
 - ⑦鹿児島市薬剤師会
3. 健診機関からのご報告(p18～)
 - ①ヘルスサポートセンター鹿児島
 - ②県民総合保健センター
 - ③鹿児島厚生連病院 健康管理センター
4. 鹿児島市保健政策課(事務局)の取組み(p21～)

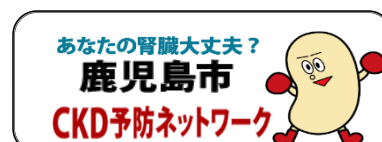


図1



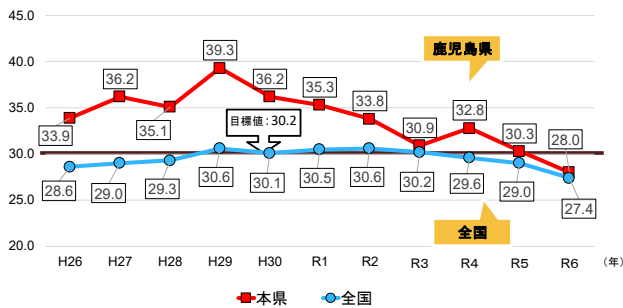
鹿児島県の「人口10万人当たりの新規透析導入患者数」は、令和4年は32.8に増加し、令和6年は28.5と減少したが全国値を上回っています。また、新規透析導入患者数のうち約4割が糖尿病性腎症を原疾患としています。関係職種の皆様におかれましては、本市のCKD予防ネットワークに理解を深めていただきネットワークが円滑に運用されることで、CKDの重症化予防につながっていくと考えています。さらに、早期対応においては、原疾患である糖尿病、高血圧等の生活習慣病の発症予防、健診受診(二次健診含)も大切です。

今後ともご理解、ご協力のほどお願いいたします。

(CKD予防ネットワークプロジェクト会議事務局)

図2

本県・全国の新規人工透析患者数の推移（人口10万対）

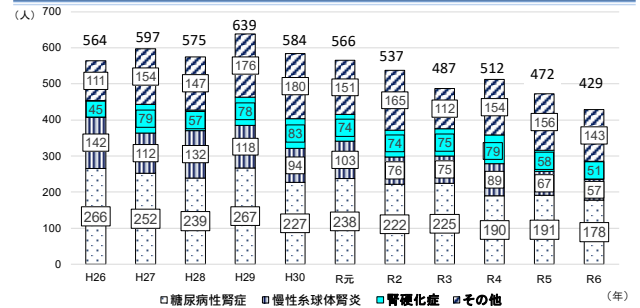


- 健康かごしま21の数値目標でもある、本県の「人口10万人当たりの新規人工透析患者数」は、令和4年は増加したが、令和6年は**28.0と減少した**。

【出典：わが国の慢性透析療法の現状(日本透析学会)から引用、改算】
健康増進課 改定 R7.1時点

図3

本県の原疾患別の新規透析導入患者数の推移

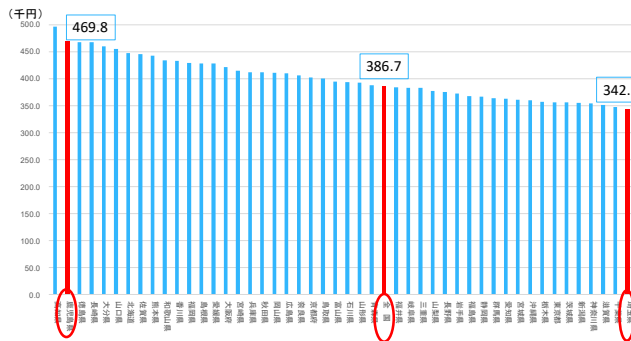


- 本県の令和6年の新規透析導入患者数は、429人で、前年より43人減少
- 新規透析導入患者のうち、約4割が糖尿病性腎症を原疾患としている。
- 糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症の3つで全体の7割近くを占める。

【出典：わが国の慢性透析療法の現状(2024年12月31日現在 集計表詳細) から引用、改算】
データの無断使用を禁ずる

図4

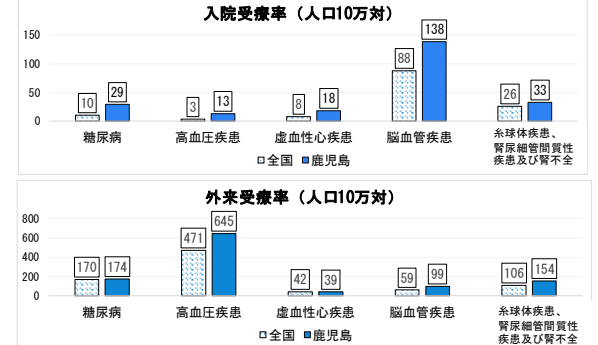
都道府県別にみた人口1人当たり国民医療費（R5年度）



【出典：令和5年度国民医療費の概況】

図5

全国、本県の生活習慣病の受療率（R5年）



- 本県の入院及び外来受療率は、全国と比較が高い。

【出典：患者調査】

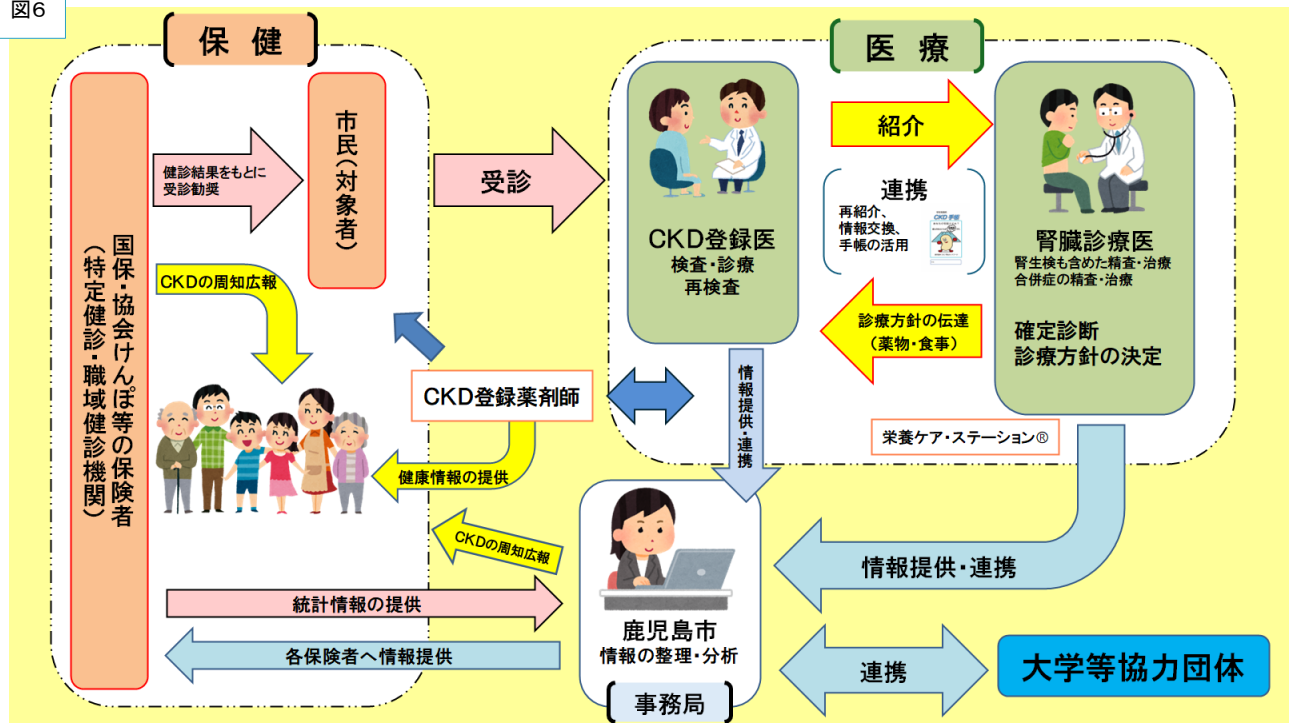
図2-5:鹿児島県健康増進課資料

1. ネットワークの稼働状況

① CKD 予防ネットワーク概要図

CKD 予防ネットワークは、糖尿病や高血圧などにより発症する CKD の重症化を予防するため、CKD 登録医と腎臓診療医が連携して診断・治療方針に関する情報提供を行う医療ネットワークです。

図6



病診(診診)連携の運用により、初期の患者を見落とさず、適切な医療に導くことで、CKDの重症化を予防するとともに、慢性透析療法の新規患者や心血管疾患の減少及び医療費の抑制を図ることを目的としています。

CKD 登録医・・・「CKD登録医」は、患者に対して必要な検査を行い、腎機能が「紹介基準」に該当する患者を「紹介シート(様式1)」により「腎臓診療医」に紹介する。

腎臓診療医・・・「腎臓診療医」は、「CKD登録医」等から紹介のあった患者に対して、必要な検査や腎機能の評価等を行い、今後の診療方針等を「返信シート(様式2)」等により「CKD登録医」等へ返信する。

CKD 登録薬剤師・・・基本的に「服薬者≡CKD高リスク者」という事実を認識し、CKDステージ判定に基づく腎障害予防に努める。

(CKD病診薬連携・健診へのかかわり・関係機関との連携)

② 新規透析患者数

図7

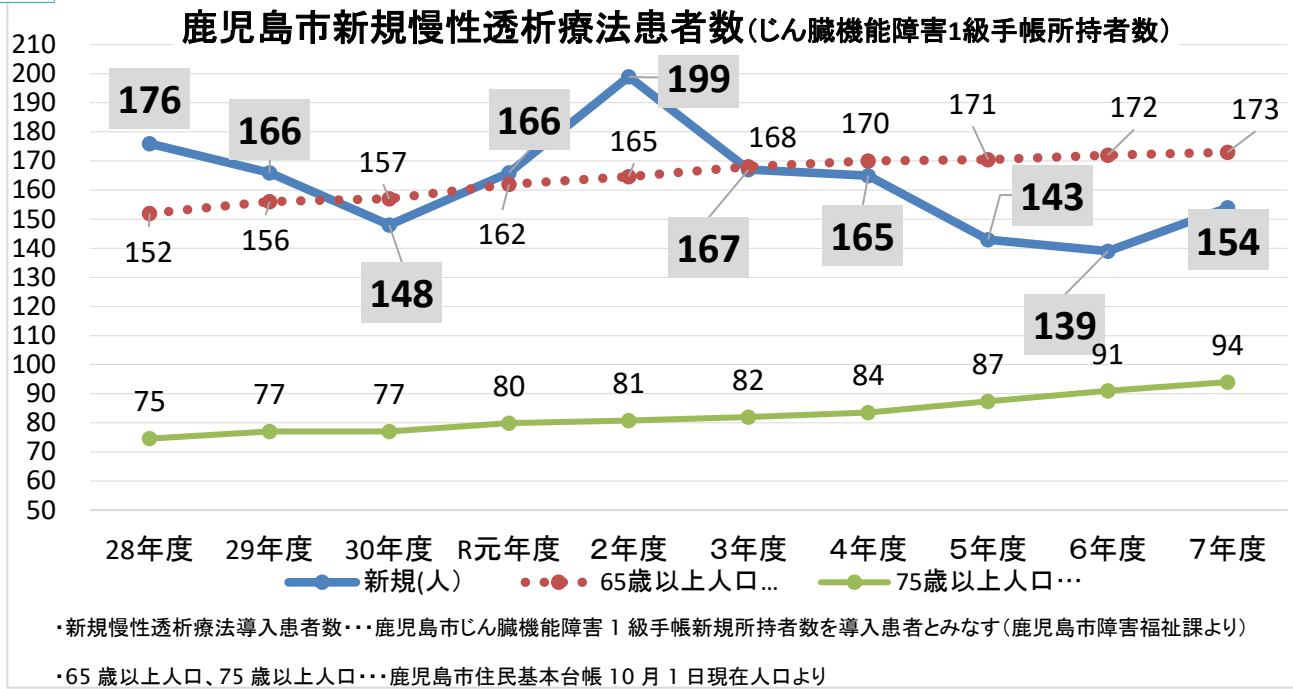


表1

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
新規(人)	176	166	148	166	199	167	165	143	139	154
65歳以上人口(千人)	152	156	157	162	165	168	170	171	172	173
75歳以上人口(千人)	75	77	77	80	81	82	84	87	91	94

表2

新規慢性透析療法患者数年代内訳

(じん臓機能障害の手帳1級所持者数) (人)

	R7年度			R6年度			R5	R4
年代	男女		計	男女		計	計	計
	男	女		男	女			
10代	1	0	1	1	0	1	0	1
20代	1	1	2	0	0	0	1	0
30代	2	0	2	1	0	1	2	2
40代	5	1	6	10	3	13	9	8
50代	12	6	18	7	3	10	18	27
60-64	9	4	13	5	0	5	12	13
65-69	15	1	16	11	5	16	23	20
70-74	16	6	22	14	8	22	23	24
75-79	18	12	30	13	7	20	22	25
80代	21	16	37	25	17	42	32	38
90代	3	4	7	4	5	9	1	7
合計	103	51	154	91	48	139	143	165
平均年齢 （歳）	69.25	74.02	平均年齢 （歳）	70.33	76.44			
	70.83			72.44				
国透析 患者情報	-	-	※国透析 患者情報	71.03	73.26			
	-			71.69				

※わが国の慢性透析療法の現況(2024年12月31日現在)

図8

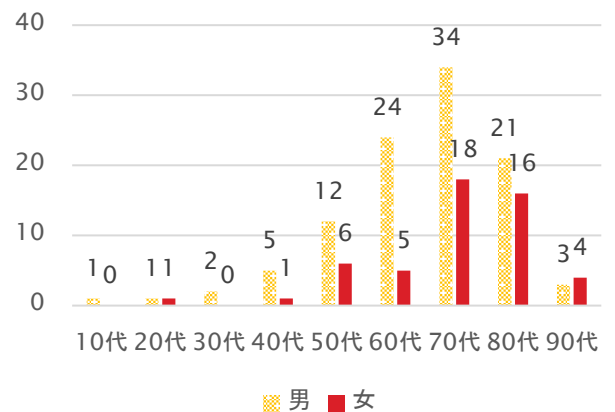
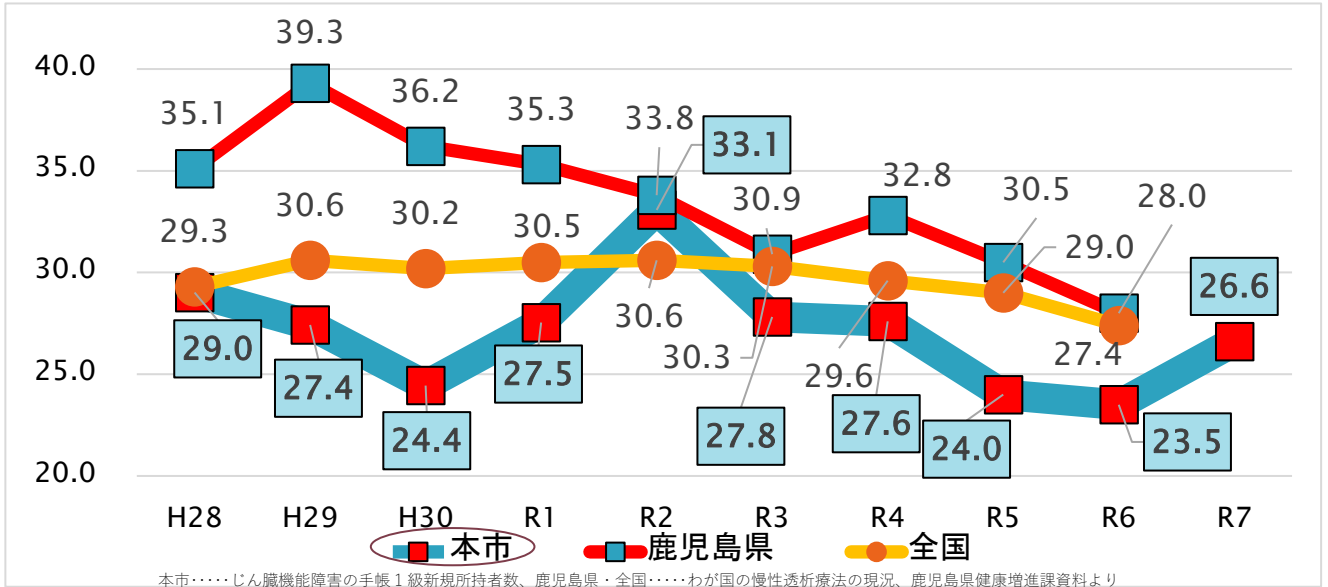
令和7年度
新規慢性透析療法患者数 年代内訳(人) 男女

図9

本市・鹿児島県・全国の新規慢性透析療法患者数の推移(人口10万対)



新規慢性透析療法患者数(図7)は、令和7年度は、154人で前年度と比較し増加しました。年代性別内訳からは、70歳代、60歳代、80歳代の順で男性が多く、65歳以上の高齢者が72.7%を占めます。令和7年度透析開始の平均年齢は、70.83歳でした。平均年齢は下がっており、令和6年度と比較し、50歳代～70歳代での新規透析者数が増加しており、早い時期からの生活習慣病予防、重症化予防が今後も重要と分かります。

③ CKD 登録医(R8.3 末)

・CKD登録医 314人 218医療機関 (令和6年度 327人 225医療機関)

※特定健診実施医療機関 297カ所 (R8.3 現在)

④ 腎臓診療医(R8.3 末)

・腎臓診療医 37人 20医療機関 (令和6年度 37人 20医療機関)

内訳: 腎臓専門医 5人、透析専門医 13人、腎臓専門医+透析専門医 19人

⑤ CKD登録薬剤師(R8.3 末)

・CKD登録薬剤師 160人 96薬局 (令和6年度 70薬局 148人)

※市内薬局数 352薬局(R8.3 現在)

表1 登録医数・腎臓診療医数・登録薬剤師数(人)

年度	R7	R6	R5	R4	R3	R2	...	H26
CKD 登録医	314	327	321	317	313	313	...	216
腎臓診療医	37	37	34	34	37	38	...	39
登録薬剤師	160	148	133	112	105	105		

⑥ 令和7年度 受診者数の報告(様式0:登録医→事務局)

図10

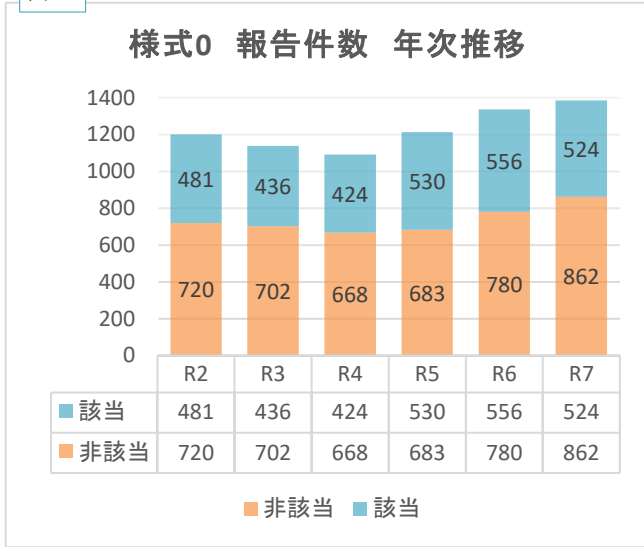
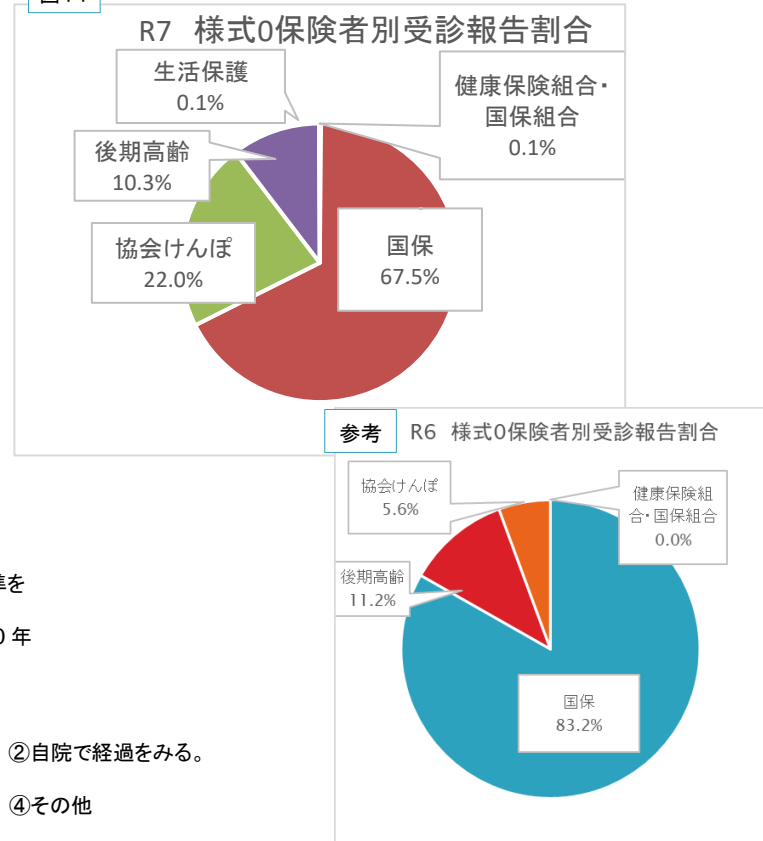


図11



※鹿児島市国保では H30 年 10 月から、かかりつけ医からの紹介基準を
変更し(CKD 診療ガイドライン 2018 にて示されたことによる)、平成 30 年
度以降は大幅に増加しています。

【非該当】①再検査で異常なし ⇒ 健診で経過観察

②自院で経過をみる。

③自院以外の、患者のかかりつけ医で経過をみる。

④その他

【該 当】⑤腎臓診療医 () 病院 () 先生へ紹介

⑥患者の意向により、自院で経過をみる。

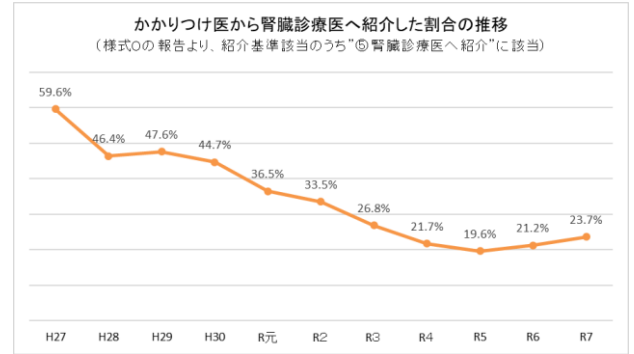
⑦患者の意向により、他院(腎臓診療医以外)で経過をみる。 ⑧その他

報告内容 (件数・割合)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	総計
	非該当				該当				
登録医からの報告 非該当・該当数	301	367	7	6	101	259	7	24	1072
非該当・該当それぞれ の中での割合	44.2%	53.9%	1.0%	0.9%	25.8%	66.2%	1.8%	6.1%	
報告全体数からの割合	681 (63.5%)				391 (36.5%)				
未登録医からの報告 非該当・該当数	68	105	6	2	23	98	7	5	314
非該当・該当それぞれ の中での割合	37.6%	58.0%	3.3%	1.1%	17.3%	73.7%	5.3%	3.8%	
報告全体数からの割合	181 (57.6%)				133 (42.4%)				
総計	369	472	13	8	124	357	14	29	1,386
非該当・該当それぞれの中での割合	42.8%	54.8%	1.5%	0.9%	23.7%	68.1%	2.7%	5.5%	
報告全体数からの割合	862 (62.2%)				524 (37.8%)				

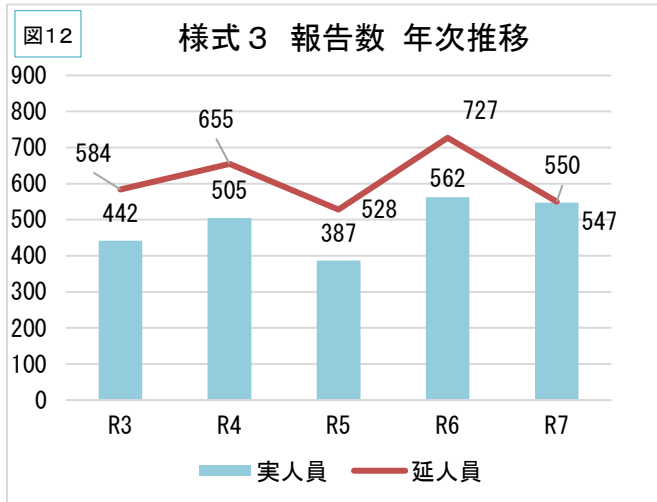
様式0の受診報告者数は、令和7年度は1,386件でした。

受診者の内訳をみると約67.5%が国保で、22.0%が協会けんぽ、10.3%が後期高齢者医療でした。再検査の結果、紹介基準に「該当」となる方は37.8%です。

紹介基準が該当した対象者の腎臓診療医への紹介率は令和5年度19.6%で年々低下していましたが、令和6年度からは増加しています。専門医に紹介せずとも登録医での継続治療で良いと判断されたケースの可能性も考えられますが、登録医(かかりつけ医)と腎臓診療医の連携や、患者さんの理解促進をすすめることも、今後必要ではないかと考えます。さまざまな職種(コメディカルスタッフ)が機会をとらえてCKD予防の重要性について伝え、「CKD」は多職種が協働して患者を支援する連携疾患であることを認識して治療にあたっていただければ幸いです。また事務局として、未登録医に対して登録いただけるよう勧奨に努めます。



⑦ R7年度 受診者数の報告(様式3:腎臓診療医→事務局)



腎臓診療医からの様式3の報告者数は横ばいで、実人数547人、延人数550人でした。紹介有無については、直接、専門医へ受診するケースが52.6%でした。

保険者別割合は、前年度と比較し、国民健康保険医療が40.9%から36.9%へ低下していました。

また、40歳未満の様式3の報告者は29人でした。

図13 R7 CKD登録医(かかりつけ医)からの紹介の有無

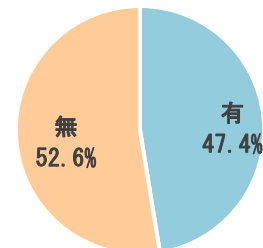
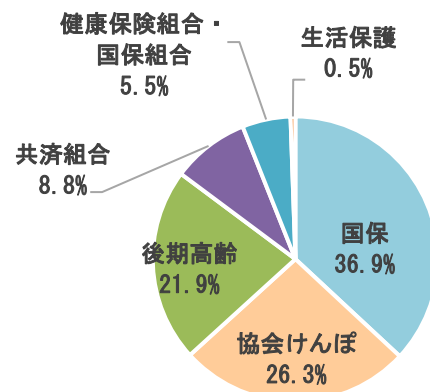


図14 R7 様式3 保険者別受診報告割合



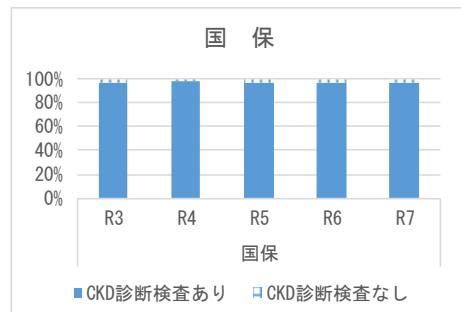
⑧ 保険者別 CKD 診断検査実施数の経年的推移

CKD 検査の有無について

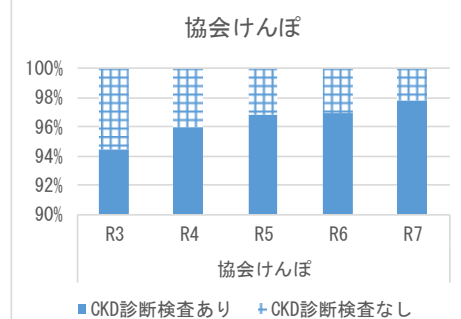
県民総合保健センター

*「CKD診断検査あり」とは、尿蛋白検査に加えて eGFR の記載と、尿潜血検査の記載がある方になります
巡回健診と施設健診との合計

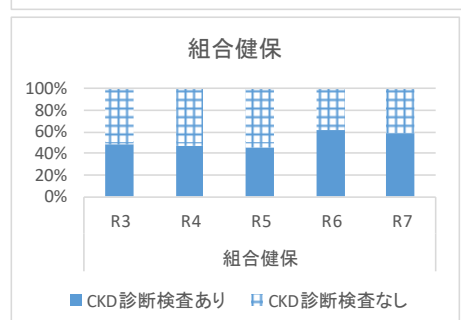
保険者	国保				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断検査あり	13,971	13,394	14,029	13,298	13,014
CKD診断検査なし	348	318	506	403	403
総数	14,319	13,712	14,535	13,701	13,417



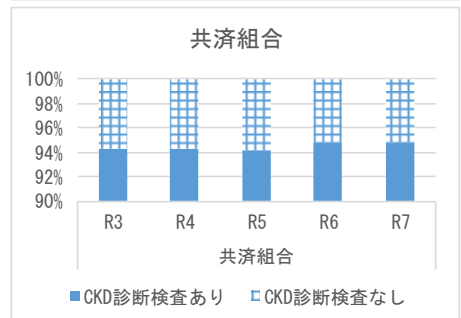
保険者	協会けんぽ				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断検査あり	8,700	9,378	9,403	9,688	10,437
CKD診断検査なし	515	392	303	304	233
総数	9,215	9,770	9,706	9,992	10,670



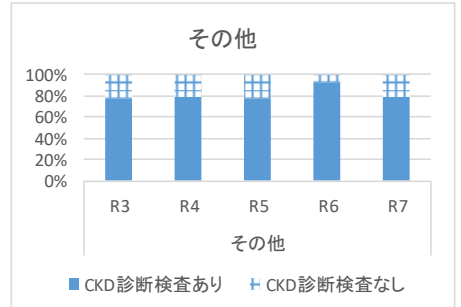
保険者	組合健保				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断検査あり	1,289	1,218	1,337	1,857	1,816
CKD診断検査なし	1,355	1,386	1,550	1,131	1,269
総数	2,644	2,604	2,887	2,988	3,085



保険者	共済組合				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断検査あり	2,053	1,932	2,042	1,810	1,744
CKD診断検査なし	125	116	127	100	97
総数	2,178	2,048	2,169	1,910	1,841



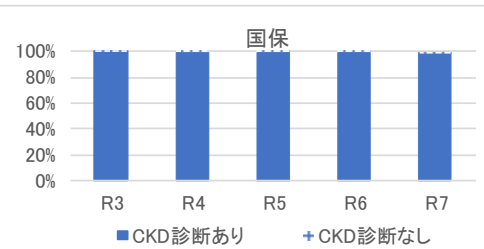
保険者	その他				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断検査あり	16,880	15,993	17,208	16,357	15,917
CKD診断検査なし	5,060	4,331	5,073	1,390	4,121
総数	21,940	20,324	22,281	17,747	20,038



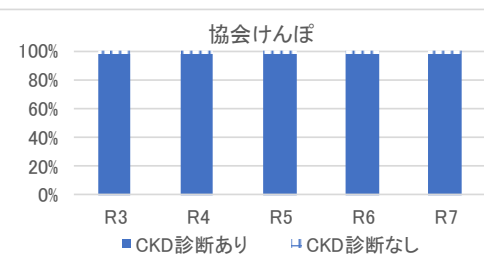
ヘルスサポートセンター鹿児島

CKD 検査の有無について

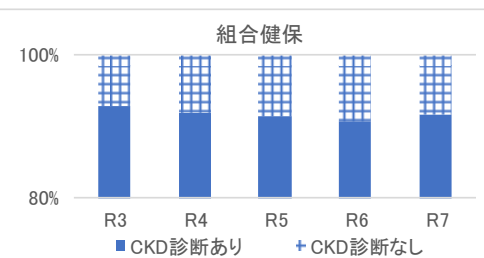
保険者	国保				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断あり	2,736	2,855	2,923	2,722	2,689
CKD診断なし	12	18	24	17	37
総数	2,748	2,873	2,947	2,739	2,726



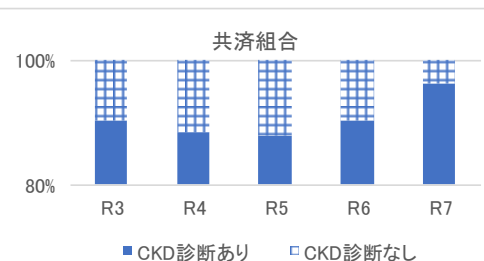
保険者	協会けんぽ				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断あり	57,406	61,643	60,389	63,201	62,968
CKD診断なし	1,388	1,289	1,337	1,145	999
総数	58,794	62,932	61,726	64,346	63,967



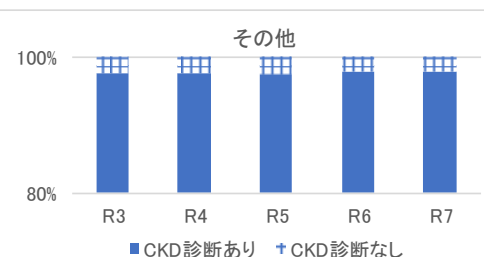
保険者	組合健保				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断あり	14,734	14,477	14,594	14,922	15,471
CKD診断なし	1,142	1,263	1,381	1,511	1,402
総数	15,876	15,740	15,975	16,433	16,873



保険者	共済組合				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断あり	1,220	1,275	1,330	1,653	6,807
CKD診断なし	132	165	182	179	257
総数	1,352	1,440	1,512	1,832	7,064



保険者	その他				
年度	R3	R4	R5	R6	R7
CKD診断あり	40,688	38,650	39,768	36,535	34,564
CKD診断なし	1,002	890	1,098	820	717
総数	41,690	39,540	40,866	37,355	35,281



健診機関においても、年々CDK 診断検査の保険者ごとの実施者割合はほとんどが90%を超え、CKD の早期介入にはつながっていると予想されますが、各保険者の被保険者である働く世代の方々、その扶養者の方々へ CKD 診断の必要性の周知とともに、各機関が連携し、健診受診率の向上にも努めることが大事になってきます。

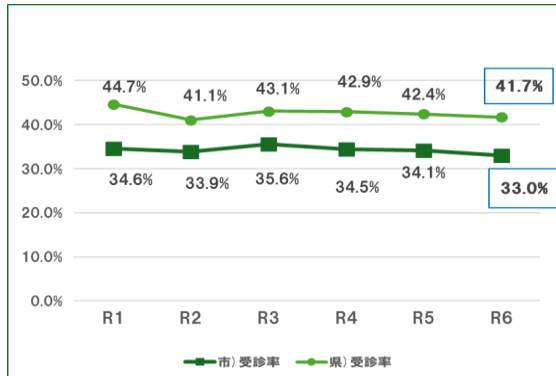
参考：

健診における血中 Cr・尿潜血の測定			
	国保	協会けんぽ	
	特定健診	生活習慣病 予防健診	特定健診
血中 Cr	×	○	×
尿潜血	×	○	×
平成 21 年～			
血中 Cr	○	○	×
平成 26 年 4 月～			
血中 Cr	○	○	×
尿潜血	○	○	×
平成 28 年 4 月～			
血中 Cr	○	○	▲
尿潜血	○	○	▲

2. 協力団体の取組み

① 国民健康保険課

鹿児島市国保における R6 年度の特定健診受診率は 33.0%です。本市国保の健康課題の把握及び重症化予防対象者への早期介入のためさまざまな取り組みを実施しておりますが、図 1 の通り、県平均の 41.7%にも及ばず、受診率は依然として低い状況です。（国の目標値：60%）
本市国保の特定健診は基本項目に加え、血清クレアチニンや尿潜血も無料で受診できる体制となっております。特定健診受診をお勧めし、CKD の早期発見につなげていただきますと幸いです。



【図1】鹿児島市国保特定健診受診率

特定健診の結果、腎臓専門医紹介基準に該当した場合、郵送や訪問による受診勧奨や保健指導を行っております。その際主治医の先生方へ、健診結果のご相談を勧めておりますので、必要な検査や腎臓診療医への紹介等のご検討をお願いいたします。

【表1】R6腎臓専門医紹介基準該当者数

■ 紹介基準対象

原疾患			糖尿病		正常		微量アルブミン尿		顕性アルブミン尿				
			高血圧・腎炎など		正常		軽度蛋白尿		高度蛋白尿				
尿蛋白区分				A1		A2		A3					
				(－)		(±)		【再掲】 尿潜血＋以上		(＋)以上			
GFR区分 (ml/分/1.73㎡)				尿検査・GFR 共に実施 23,129 人		19,514 人		2,253 人		392 人		1,362 人	
						84.4%		9.7%		17.4%		5.9%	
G1	正常 または高値	90以上	1,595 人		1,342 人		161 人		21 人		92 人		
			6.9%		5.8%		0.7%		13.0%		0.4%		
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	15,425 人		13,283 人		1,421 人		240 人		721 人		
			66.7%		57.4%		6.1%		16.9%		3.1%		
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	5,351 人		4,439 人		563 人		110 人		349 人		
			23.1%		19.2%		2.4%		19.5%		1.5%		
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	657 人		425 人		96 人		18 人		136 人		
			2.8%		1.8%		0.4%		18.8%		0.6%		
G4	高度低下	15-30 未満	83 人		24 人		11 人		2 人		48 人		
			0.4%		0.1%		0.0%		18.2%		0.2%		
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	18 人		1 人		1 人		1 人		16 人		
			0.1%		0.0%		0.0%		100.0%		0.1%		

特定健診は定性検査のみであるため、定性検査と定量検査の違いについても保健指導の場で伝えていきたいと考えています。

G3a を G3b に移行させないことが重要と考えています。

表 1 の通り、R6 年度特定健診における腎臓専門医への紹介基準対象者は受診者全体の約 12%でした。尿蛋白陽性者は 1,362 人であり、優先的に介入する必要があります。

表2は特定健診結果からCKD予防ネットワーク腎臓専門医紹介基準に該当した件数とそのうち受診勧奨を行った件数を健診年度ごと集計したものです。（様式3と様式0の受理件数については、受理した年度ごとに集計しているため、分母には複数年の該当者が含まれます。）

【表2】特定健診からのCKD受診勧奨対象者数について（国保）

		R2	R3	R4	R5	R6
特定健診 (法定報告)	対象者数	82,068	80,688	77,286	74,179	71,000
	受診者数	27,805	28,690	26,626	25,316	23,439
	受診率	33.9%	35.6%	34.5%	34.1%	33.0%
CKD予防 ネット ワーク	紹介基準該当者数	3,389	3,020	2,846	2,987	2,875
	受診勧奨件数	2,480	2,451	2,193	2,252	2,370
	様式3受理件数	356	256	273	277	211
	様式0受理件数	1,070	863	882	984	1,071

【表3】受診勧奨を行った2,370名のうち様式0が返ってきた1,029名の経過（件）
※様式0はR7年度受理分を含む

(607件) 紹介基準に 該当しない	①再検査で異常なし	250
	②自院で経過をみる	346
	③自院以外のかかりつけ医で経過をみる	5
	④その他	6
(422件) 紹介基準に 該当	⑤腎臓診療医へ紹介	90
	⑥患者の意向により自院で経過をみる	295
	⑦患者の意向により他院（腎臓診療医以外）	14
	⑧その他	23

1029

表3はR6年度健診で受診勧奨を行った2,370名のうち、様式0の返書のあった1,029名の集計結果です。

腎臓専門医の紹介基準に該当しているが、患者本人の意向でつながっていない方が309名（73%）います。直接保健指導を行う機会がある方には、受診勧奨後の支援として、検査の数値はどうだったか、主治医からの説明をどのように受け止めているかなどを確認し、自身の腎臓のリスクについて理解してもらえるような保健指導を行っています。

●慢性透析療法患者数について

表4より、慢性透析療法患者数は近年減少傾向に見えますが、被保険者数100万対でみると増加しています。R2年度からの伸び率は同規模被保険者は-0.4%に対し、本市は3.8%となっています。R6年度の新規透析患者のうち、約3割が社保からの加入によるものであるため、CKD予防ネットワークを通じて、他保険者との連携を強化していきたいと考えています。

【表4】人工透析患者数と人口比率

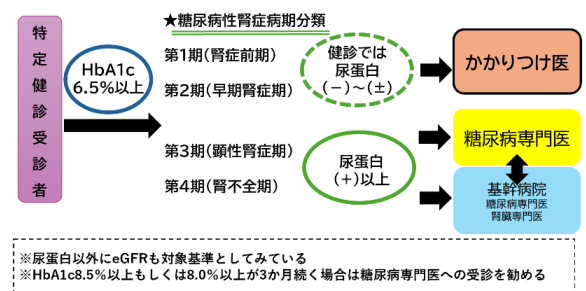
		R2	R3	R4	R5	R6	R2-R6 伸び率
鹿児島市 国保	患者数	684	696	659	648	623	3.8%
	被保険者 数 100万対	5,708	5,918	5,778	5,907	5,923	
(参考) 同規模 被保険者	被保険者 数 100万対	3,500	3,544	3,543	3,538	3,486	-0.4%

※KDBシステムより（同規模被保険者とは同規模程度の被保険者数をもつ保険者平均をさす）

●糖尿病性腎症重症化予防について

新規人工透析導入患者の原疾患となる糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした取組を推進するため、「鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防対策推進協議会」を設置しています。R4年度以降、病診連携・かかりつけ医と連携した保健指導体系の運用を開始しておりますが、糖尿病性腎症病期分類第3期以上でも専門医へつながりにくい現状があります。その背景は様々であり、引き続き課題解決のために取り組んでいきます。

<特定健診からの病診連携概要>



②協会けんぽ

1. 令和6年度鹿児島市35歳以上の被保険者数及び生活習慣病予防健診受診者

令和5年度と比べ健診受診率は2.4ポイント上昇している。

	令和5年度	令和6年度
加入者数(35歳以上の被保険者数)	104,470	102,475
健診受診者数(生活習慣病予防健診)	49,497	51,025
健診受診率	47.4%	49.8%

2. CKD重症化予防事業

令和6年度健診受診者への受診勧奨を、令和6年11月から令和7年10月の間実施した。

令和6年度健診受診者51,025名のうち受診勧奨対象者は、2,221名(該当率4.6%)、前年度と比較し、0.9ポイント減少となっている。また、令和6年4月健診分より協会けんぽ鹿児島支部受診勧奨通知基準を下記に変更して勧奨を実施している。

	令和5年度	令和6年度
CKD受診勧奨該当者数	2,620	2,221
CKD受診勧奨該当率	5.2%	4.3%
受診勧奨通知発送数	749	2,221

<協会けんぽ鹿児島支部受診勧奨通知基準 令和6年3月健診まで>

- ・尿蛋白(2+以上)
- ・尿蛋白(1+以上)かつeGFR 60mL/分/1.73m²未満
- ・40歳未満 eGFR 60mL/分/1.73m²未満
- ・40歳以上 eGFR 45mL/分/1.73m²未満

<協会けんぽ鹿児島支部受診勧奨通知基準 令和6年4月健診以降>

- ・尿蛋白(1+以上)
- ・尿蛋白(±以上)かつ尿潜血(1+以上)
- ・eGFR 60mL/分/1.73m²未満かつ尿蛋白(±以上)
- ・40歳未満 eGFR 60mL/分/1.73m²未満
- ・40歳以上 eGFR 45mL/分/1.73m²未満

3. 未治療者受診勧奨事業(参考)

被保険者における健診受診者のうち、血圧・血糖・脂質に関する検査値が、下記の基準を1つ以上満たす未受診者へ文書及び電話による受診勧奨業務を実施している。(協会けんぽ全体としての取り組み)

収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	LDL コレステロール
160mmHg 以上	100mmHg以上	126mg/dl以上	6.5%以上	180mg/dl 以上

鹿児島支部の令和6年度健診受診者への文書勧奨後10ヶ月以内の受診率は、41.2%であり、全国1位(全国平均34.3%)となっている。

③長寿支援課・長寿あんしん課

令和7年度の長寿健診受診者のうち、80歳以下で尿蛋白2+、またはe-GFR45未満の未治療者に対し、健診結果の経年表、e-GFRの経年グラフ、主治医宛て紹介状の作成を行い、医療専門職による訪問指導を実施した。

75歳以上の後期高齢者に対し、健診結果を見える化した保健指導、および紹介状作成による受診勧奨を行い、「様式0」の返却数が143件(R8年3月末時点)になり、(前年同月148件)CKDネットワークを活用した後期高齢者の受療促進につながった。

《長寿健診受診率》

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
被保険者数	77,807人	79,311人	85,481人	85,982人	88,746人
健診受診者数	12,827人	13,281人	14,948人	15,704人	16,649人
対被保険者数 健診受診率	16.49%	16.75%	17.49%	19.6% (18.26%)	20.00% (18.76%)

※令和7年度 令和8年3月31日時点受診分。

※令和6年度から健診受診率は、被保険者数から長期入院者・施設入所者を除いた数を分母として算出。()内は今まで同様、除いていない数を分母として算出。

《支援対象者数・訪問指導実施者数》

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
原則80歳以下 尿蛋白2+またはe-GFR45未満の未治療者	270人	274人	280人	229人	227人
訪問指導実施者 (前年度からの 継続支援者を含む)	145人	358人	354人	249人	246人

(年度末時点)

④鹿児島県看護協会

具体的な取組	【令和7年度実施状況】	【令和8年度実施計画】
まちの保健室 (山形屋看護展)	【日時】 令和7年8月31日(日) 【場所】 山形屋 【内容】 ・血管年齢測定 ・血圧測定 ・看護相談 ・栄養相談(栄養士会) ・お薬相談(薬剤師会) 【実施結果】 血圧測定、看護相談 79名 血管年齢測定 88名 栄養相談 15名 薬剤相談 5名	【日時】 令和8年9月6日(日) 【場所】 山形屋 【内容】 ・血管年齢測定 ・血圧測定 ・看護相談 ・栄養相談(栄養士会) ・お薬相談(薬剤師会)
市民健康まつりへの参加	【日時】 令和7年10月12日(土) 【場所】 西原商会アリーナ 【内容】 ・血圧測定 ・血管年齢測定 ・看護相談 ・メドキッズ ・スタンプラリー 【実施結果】 ・血圧測定244名、血管年齢測定526名、 看護相談74名 メドキッズ38名 スタンプラリー82名 参加	【日時】 令和8年10月18日(日) 【場所】 ふれあいスポーツランド 【内容】 ・血圧測定 ・血管年齢測定 ・看護相談 ・子供向け看護体験
CKD啓発イベント「世界 腎臓病デーinかごしま」	【日時】 令和8年3月12日(木) 【場所】 鹿児島中央駅 【内容】 ・アミュラン(観覧車)のライトアップ ・広報 ・展示案内	【日時】 令和9年3月頃 【場所】 未定 【内容】 ・未定
【その他取り組み】	なし	予定なし

⑤鹿児島県栄養士会

具体的な取組	【令和7年度実施状況】	【令和8年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デーin かごしま」への参加		【日時】 未定 【場所】 未定 【内容】 未定
管理栄養士派遣制度	【利用施設】 1 施設 【指導件数】 1 件 【指導内容】 糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満・肝機能異常	栄養ケアステーション機能（人材紹介等）の促進
研修会	<p>会員資質向上対策リレー研修会 【日時】 令和 7 年 10 月 18 日（土） 【場所】 宝山ホール第 3 会議室 【内容】 ・血圧管理の新しいアプローチ～“ナトカリ”を意識しよう！～ ・糖尿病性腎症重症化予防について～鹿児島市の取り組み～</p> <p>糖尿病重症化予防事業 症例検討研修会 【日時】 令和8年1月24日（土） 【場所】 鹿児島県栄養会館 【内容】 ・糖尿病腎症 G3aA2 患者の栄養指導 ・腎臓専門病院での栄養指導</p>	<p>会員資質向上対策リレー研修会 【日時】 令和 8 年 11 月 14 日 【場所】 未定 【内容】 ・最新の循環器疾患（仮） 高血圧ガイドライン改定のポイント ・症例検討</p> <p>【日時】 令和 9 年 1 月 16 日 【場所】 未定 【内容】 ・最新の糖尿病治療法（仮） ・症例検討</p> <p>糖尿病重症化予防事業 症例検討研修会 【日時】 令和 9 年 2 月 13 日 【場所】 未定 【内容】 ・最新の CKD 治療法（仮） 鹿児島県の透析導入率改善のために ・症例検討</p>
市民健康まつりへの協力、参加	【日時】 令和 7 年 10 月 12 日 【場所】 西原商会アリーナ 【内容】 栄養相談	【日時】 令和 8 年 10 月 18 日 【場所】 フレッシュ青果スポーツランド 【内容】 子どもと考えるバランス食

⑥鹿児島糖尿病療養指導士会（KCDE 会）

具体的な取組	【令和7年度実施状況】	【令和8年度実施計画】
世界糖尿病デー・イベントの開催	<p>KCDE 会主催では開催なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年 11 月 2 日 「垂水産業祭り」参加協力 糖尿病に関する情報提供 SMBG、血圧測定、療養相談 ・2026 年 1 月 31 日 桜島マルシェ IN 村山陶芸健康教室（内容：上記に同じ） ・2025 年 11/8、2026 年 2/21 「トカラ諸島健康教室」参加協力 糖尿病に関する情報提供 SMBG、血圧測定、療養相談、 体組成測定 	<p>糖尿病予防の啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域のイベントに参加協力 世界糖尿病デー（11 月頃） ・糖尿病に関する情報提供（パネル、チラシ） ・療養相談
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デー in かごしま」への参加	<p>チラシ掲示のみ イベント開催なし （参加なし）</p>	<p>【日時・場所】詳細未定 世界腎臓デー（3 月頃） 【内容】パネル展示など</p>
研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> * 第 55 回コメディカルのための糖尿病セミナー開催 2025 年 11 月 15 日（土） 鹿児島国際交流センター 症例検討～認知症と糖尿病～ ①「糖尿病をもつ認知症を合併した患者への多職種での関わり」 ②「認知症をもつ糖尿病患者への意思決定支援について考える」 * 糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・2025 年 9 月 10 日「肝属地区」 ・2025 年 10 月 7 日「奄美地区」 ・2025 年 11 月 5 日「川薩地区」 「事例検討、グループワーク」（全て現地開催） 	<ul style="list-style-type: none"> * コメディカルのための糖尿病セミナー（予定） 【日時・場所・内容】未定 （秋から冬、霧島地区予定） * 糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・事例検討、グループワーク

⑦鹿児島市薬剤師会

具体的な取組	【令和7年度実施状況】	【令和8年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デー in かごしま」への参加	令和7年度イベントなし。 世界腎臓デーに合わせて、会員薬局でCKD 予防啓発活動を行った。 (参加薬剤師数:102名、CKD 予防の重要性を説明した人数:969名)	【日時・場所】未定 【内容】 ・パネル展示 ・お薬相談コーナー
CKD 学術講演会の開催	【日時・場所】令和7年10月28日 19:30～21:00(WEB) 【内容】演題:CKD 診療 update 講師:南風病院 腎臓内科・人工透析内科 部長 野崎 剛先生 【日時・場所】令和8年3月10日 19:30～21:00(WEB) 【内容】演題①「鹿児島市CKD予防ネットワークについて」 講師:鹿児島市保健部保健政策課健康づくり係 山内夏芽 様 演題②「いまさら聞けないCKDのコト～基本のキから処方検討まで～」 講師:鹿児島市薬剤師会 産業保健委員会 委員 鎌田 貴志	【日時・場所】 ・令和8年9月、令和9年2月予定・場所未定 【内容】 ・薬剤師を対象としたCKDに関する研修会 ・CKD 登録薬剤師研修会 CKD 登録薬剤師制度登録への働きかけ等
お達者クラブでの 「薬の健康教室」にて CKD 啓発活動	【日時】令和7年7月～令和8年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD 啓発を実施した。	【日時】令和8年7月～令和9年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD 啓発を実施する。
CKD 予防ネットワーク 研修会	令和7年度は対象が医師のみだったため、薬剤師へ広報しなかった。	CKD 予防ネットワーク(地区別)研修会があれば、必要に応じて薬剤師研修センター単位を取得できるように手配し、当会会員への案内及び当会ホームページへの掲載を行う。
CKD シール	・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKD シールを、希望があった病院・保険薬局会員へ配布した。 ・CKD シール改訂の検討を行った。	・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKD シールを改訂し、会員へ継続して啓発していく。
CKD 登録薬剤師制度	・鹿児島市によるCKD 登録薬剤師研修会への協力を行った。 ・登録薬剤師を増やすための呼びかけを行った。 ・ホームページのCKD 登録薬剤師一覧情報に対する変更・更新の改善策を提案した。 ・CKD 手帳改訂に伴うCKD トレーシングレポート改訂に対して提案を行った。 ・保険薬局による尿蛋白定量検査実施の可否について検討を行った。 ・「薬剤師が支えるあなたの健康手帳」作成においてCKD 部分の検討を行った。	・鹿児島市によるCKD 登録薬剤師制度の研修会や説明会等への協力を行う。 ・引き続き、CKD 登録薬剤師制度をいかしていけるよう市民に向けて啓発を行い、登録薬剤師を増やす取り組みを行う。 ・CKD 登録薬剤師同士が情報共有できるツール(LINE のオープンチャット)の登録の呼びかけをし、活用していく。 ・CKD トレーシングレポートの活用を推進していく。 ・保険薬局による尿蛋白定量検査実施に向けて活動していく。 ・禁煙支援について、できることを検討・実施していく。 ・「薬剤師が支えるあなたの健康手帳」を使ったCKD 啓発を検討していく。(医療と保健をつなぐツールとして作成。未病の方々への啓発、薬局と地域をつなぐツールとしての活用、職域を意識したアプローチを目指す。)

3. 健診機関からのご報告

ヘルスサポートセンター鹿児島

ヘルスサポートセンター鹿児島
令和7年度のご報告

令和7年度の受診者は、122,499名でした。昨年度より206名減少していました。少子高齢化のせい
か、30歳未満の若い受診者が減少してきています。令和7年度のeGFR 60ml/min/1.73m²未満のかた
は、全体の11.3%で前年度と同様でした。年齢別にみますと、腎機能低下者は例年通り50歳台より急
増しています。特に70歳以上は男女とも、腎機能低下者の割合が4割程度の結果となっています。生
活習慣病への早めの介入が必要と思える状況です。。

表 令和7度 腎機能低下の割合

腎機能低下者がどの程度、医療機関に通院しているのか判明していませんが、自覚症状のないう
ちに、自らの腎機能低下に気づいて、生活習慣を見直したり、主治医に報告して改善についてのアドバイ
スを頂くように保健指導が必要です。

		30歳 未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳 以上	合計
男 性	受診者数(A)	10,394	13,925	17,025	15,677	11,560	3,586	72,167
	eGFR60未満者数 (B)	35	217	1,033	2,425	3,135	1,521	8,366
	割合(%) (B)/(A)	0.3	1.6	6.1	15.5	27.1	42.4	11.6
女 性	受診者数(A)	8,002	8,524	10,939	10,977	8,641	3,249	50,332
	eGFR60未満者数 (B)	19	71	469	1,499	2,179	1,263	5,500
	割合(%) (B)/(A)	0.2	0.8	4.3	13.7	25.2	38.9	10.9
総 計	受診者数(A)	18,396	22,449	27,964	26,654	20,201	6,835	122,499
	eGFR60未満者数 (B)	54	288	1,502	3,924	5,314	2,784	13,866
	割合(%) (B)/(A)	0.3	1.3	5.4	14.7	26.3	40.7	11.3

今後も産業保健や特定保健指導などの健診の事後措置の枠組みの中で、CKD についての啓発運動
を進めていく予定です。

県民総合保健センター

●令和7年度の取り組み

巡回型健診及び施設内健診にて CKD 診断検査を受診したのは、男性 22,023 人、女性 21,500 人、合計 43,523 人でした。

検査結果を性別・年齢別にみると、eGFR60ml/分/1.73 m²未満の割合及び尿蛋白(+)・尿蛋白2(+)以上の割合は、男女ともに年齢が上がるにつれて増加する傾向があり、男性は女性より高率でした。男女合計では、50 歳代で eGFR60ml/分/1.73 m²未満の割合が 16.2%に急増し、70 歳以上では 43.8%に達しました。

●次年度に向けて

令和8年度は、CKD 受診者が検査結果を生かした予防行動をとれるよう、特定保健指導や糖尿病性腎症重症化予防を目的とした保健指導などを通じて、引き続き支援に努めます。

さらに、令和9年4月からは、労働安全衛生法に基づく定期健康診断等の項目に「血清クレアチニン検査」が追加されます。これにより、健診での CKD スクリーニングがより適切に行われ、CKD の早期発見、早期介入につながるものと考えます。

eGFR60未満及び尿蛋白(+)2(+)以上の対象者

性別	項目	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	CKD受診者数	2,066	3,389	4,226	3,982	3,805	4,555	22,023
	eGFR60未満者数	8	61	307	687	1,143	2,152	4,358
	割合(%)	0.4	1.8	7.3	17.3	30.0	47.2	19.8
	尿蛋白(+)以上	22	43	73	101	114	307	660
	割合(%)	1.1	1.3	1.7	2.5	3.0	6.7	3.0
	尿蛋白2(+)以上	4	16	20	31	39	136	246
	割合(%)	0.2	0.5	0.5	0.8	1.0	3.0	1.1
女性	CKD受診者数	2,660	2,846	3,863	4,024	3,648	4,459	21,500
	eGFR60未満者数	5	27	167	606	870	1,794	3,469
	割合(%)	0.2	0.9	4.3	15.1	23.8	40.2	16.1
	尿蛋白(+)以上	60	40	48	33	39	168	388
	割合(%)	2.3	1.4	1.2	0.8	1.1	3.8	1.8
	尿蛋白2(+)以上	12	4	15	12	15	66	124
	割合(%)	0.5	0.1	0.4	0.3	0.4	1.5	0.6
合計	CKD受診者数	4,726	6,235	8,089	8,006	7,453	9,014	43,523
	eGFR60未満者数	13	88	474	1,293	2,013	3,946	7,827
	割合(%)	0.3	1.4	5.9	16.2	27.0	43.8	18.0
	尿蛋白(+)以上	82	83	121	134	153	475	1,048
	割合(%)	1.7	1.3	1.5	1.7	2.1	5.3	2.4
	尿蛋白2(+)以上	16	20	35	43	54	202	370
	割合(%)	0.3	0.3	0.4	0.5	0.7	2.2	0.9

CKD受診者数：eGFRと尿潜血検査の両方に受診がある方

鹿児島厚生連病院 健康管理センター

●令和7年度の取り組み

令和7年度に当施設で行った施設内健診および巡回健診の受診者のうち、CKD 検査を行った鹿児島市の受診者数は 27,957 人でした。このうち、腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m² 未満) の方は、男性 2,561 人 (16.0%)、女性 1,541 人 (12.9%)、合計 4,102 人 (14.7%) でした。また、尿蛋白 (+) 以上の方は、合計 458 人 (1.6%)、尿蛋白 (2+) 以上の方は、合計 120 人 (0.4%) でした。

腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m² 未満) の方の年齢別割合を見ますと、40 歳未満においては男女ともに 2.0% 以下でしたが、40 歳を越えると急に増加し、さらに年齢が上がるにつれてさらに増加していました。特に 70 歳以上の男性では、腎機能低下の方の割合が 45.4% と、約半数に迫る数でした。

●次年度に向けて

CKD の原因として、高血圧症と糖尿病は重要な疾患です。次年度におきましても、特定健診の機会を利用して、CKD の理解を深める努力はもちろんのこと、高血圧症と糖尿病の重症化を予防するため、栄養指導・運動指導・自己血圧測定を推し進めてまいります。

性別	項目	30 歳未満	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計
男性	CKD 受診者数	1547	2420	3523	3821	2932	1731	15974
	eGFR60 未満者数	1	34	210	641	889	786	2561
	割合 (%)	0.1%	1.4%	6.0%	16.8%	30.3%	45.4%	16.0%
	尿蛋白 (+) 以上	24	40	60	68	57	64	313
	割合 (%)	1.6%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%	3.7%	2.0%
	尿蛋白 (2+) 以上	2	6	16	21	12	17	74
	割合 (%)	0.1%	0.2%	0.5%	0.5%	0.4%	1.0%	0.5%
女性	CKD 受診者数	1329	1727	2730	2751	1948	1498	11983
	eGFR60 未満者数	1	18	115	356	446	605	1541
	割合 (%)	0.1%	1.0%	4.2%	12.9%	22.9%	40.4%	12.9%
	尿蛋白 (+) 以上	17	27	48	25	11	17	145
	割合 (%)	1.3%	1.6%	1.8%	0.9%	0.6%	1.1%	1.2%
	尿蛋白 (2+) 以上	4	9	15	9	3	6	46
	割合 (%)	0.3%	0.5%	0.5%	0.3%	0.2%	0.4%	0.4%
合計	CKD 受診者数	2876	4147	6253	6572	4880	3229	27957
	eGFR60 未満者数	2	52	325	997	1335	1391	4102
	割合 (%)	0.1%	1.3%	5.2%	15.2%	27.4%	43.1%	14.7%
	尿蛋白 (+) 以上	41	67	108	93	68	81	458
	割合 (%)	1.4%	1.6%	1.7%	1.4%	1.4%	2.5%	1.6%
	尿蛋白 (2+) 以上	6	15	31	30	15	23	120
	割合 (%)	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	0.3%	0.7%	0.4%

4. 鹿児島市保健政策課(事務局)の取組み

研 修 会

CKD 予防ネットワーク研修会



日 時: 令和7年10月13日(木) 19時~20時20分
開催方式: 対面開催
対象 : CKD登録医

内 容: 座長 鹿児島大学病院 腎臓内科 助教 吉嶺 陽仁先生

I. 紹介目安が拓くCKD地域連携の未来

日本赤十字社 松山赤十字病院 腎臓内科 部長 上村 太朗先生

II. グループディスカッション CKD診療医地域で取り組むために

司会 白石病院 腎臓内科 部長 徳永 公紀先生
南風病院 腎臓内科 部長 野崎 剛先生

参加者 : 27名

参加後アンケート

・講演をきくだけでなく、私と同じ非専門医の意見もきけて、みんな同じなんだなと感じたし、それだけでなく、紹介先の専門医の考えがわかったのもよかった。

・他の先生方の意見も聞けて満足度は高い。質問の内容や個数(5個)、1問当たりの時間もちょうどよく理想的だったと思う。あのような形式の講演会はなかなかないので。

CKD 予防ネットワーク登録薬剤師向け研修会

日 時: 令和8年3月10日(火) 19時30分~21時
開催方式: オンライン開催

内 容:

I. 鹿児島市 CKD 予防ネットワークについて

鹿児島市保健政策課健康づくり係

II. いまさら聞けないCKDのコト

~基本のキから処方検討まで~

鹿児島市薬剤師会 産業保健委員会 委員: 鎌田 貴志先生

参加者: 127人

令和7年度第5回鹿児島市薬剤師会産業保健研修会
鹿児島市CKD予防ネットワーク Web 研修会の開催について (ご案内)
日本薬剤師会研修センター認定講座 (1単位申請中)

時下、皆様方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記研修会を鹿児島市CKD予防ネットワークプロジェクト会議との共催にて開催いたします。
本研修会は鹿児島市CKD予防ネットワークWeb研修会として、CKDに関する内容で実施いたします。
演題①では鹿児島市保健政策課健康づくり係、鹿児島市CKD予防ネットワークに関する情報提供をいただき、演題②では「いまさら聞けないCKDのコト」をテーマに、腎機能評価を中心とした個人ワーク形式の研修会を実施いたします。
つきましては、ご多忙中のご事情を考慮し、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。受講をご希望の方は、3月6日(金)までに下記の申込フォームよりお申込みください。なお、別添の「鹿児島市薬剤師会研修会受講時の注意事項」をご確認の上、受講いただきますようお願いいたします。遅刻や早退の場合は、受講単位交付対象外となりますので、ご注意くださいようお願いいたします。

記
日 時: 令和8年3月10日(火) 19:30~21:00
形 式: オンライン配信 (Zoom ウェビナー) 定員500名
内 容: 演題①「鹿児島市CKD予防ネットワークについて」
鹿児島市保健政策課健康づくり係 山内夏芽 様
演題②「いまさら聞けないCKDのコト~基本のキから処方検討まで~」
鹿児島市薬剤師会 産業保健委員会 委員 鎌田 貴志 先生

受講料: 市薬剤師会は受講料無料

鹿児島市薬剤師会会員以外の方で、研修受講単位を希望される場合は受講料3,000円が必要となりますので、希望される方は3月9日(月)までに下記口座にお振込みをお願い致します(振込手数料はご負担ください)。研修会への参加・不参加問わず返金は致しません。なお、期日までに入金確認できない場合は研修受講単位の付与は行いませんのでご了承ください。
【振込先】鹿児島銀行南陽支店 (普通) 1133255 公益社団法人鹿児島市薬剤師会
※入金確認のため振込人名義のお名前前に0310と必ず付け加えて頂きますようお願い致します。
例: 0310シヤタハナコ

申込方法: 下記の2次元コードまたはURLよりお申込みください。



https://x.gd/MYTH1

申込期限: 令和8年3月6日(金)
備 考: 当研修会案内については、鹿児島市薬剤師会HP (http://siyaku.or.jp) にも掲載しております。

以上

地域での CKD に関する講話

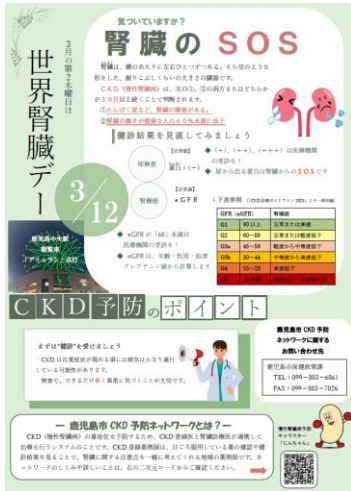
CKD に関する地域住民向けの健康講話を行っています。

令和 7 年度は、地域のサロン等 3 会場で実施し、参加者数は合計 62 人でした。

鹿児島市の CKD の現状や、健診での腎機能の見方、生活習慣の中で気をつける点など話をしました。CKD に関する講話のご希望がありましたら、ぜひ市政出前トークをご活用ください。

広報活動(CKD 啓発イベント等)

※世界腎臓デーに合わせて開催



- ・鹿児島中央駅アミュラン(観覧車)のライトアップ
日時: 令和 8 年 3 月 12 日(木)
場所: 鹿児島中央駅



- ・広報
 - ・かごしま市民のひろば 3 月号
 - ・関係機関へ広報依頼(協力団体含む)
 - ・保健政策課インスタグラムによる広報
 - ・鹿児島県と連携し、南日本新聞へ記事掲載(令和 7 年 11 月)

- ・展示
 - ・鹿児島中央駅市民プラザ(期間: 令和 8 年 3 月 2 日～3 月 16 日)
 - ・鹿児島市立天文館図書館(期間: 令和 8 年 3 月 4 日～3 月 10 日)
 - ・鹿児島市役所市民ギャラリー(期間: 令和 8 年 3 月 9 日～3 月 13 日)
 - ・公共掲示板(期間: 令和 8 年 3 月 9 日～4 月 5 日)
 - ・CKD 予防啓発の旗設置(期間: 令和 8 年 3 月)

アミュランライトアップ



公共掲示板



旗設置



南日本新聞 記事掲載



パネル展示

